

27-57

特 67

772
版 再 正 言



初學
翻譯
文範

第一集

- 序例
- 佛文 查列斯ノ行事
- 獨文 二軍官蝦ヲ争フ話
- 英文 戯曲ノ起原
- 佛文 葛城之役漢譯

通名部可

明治二十三年三月二十日

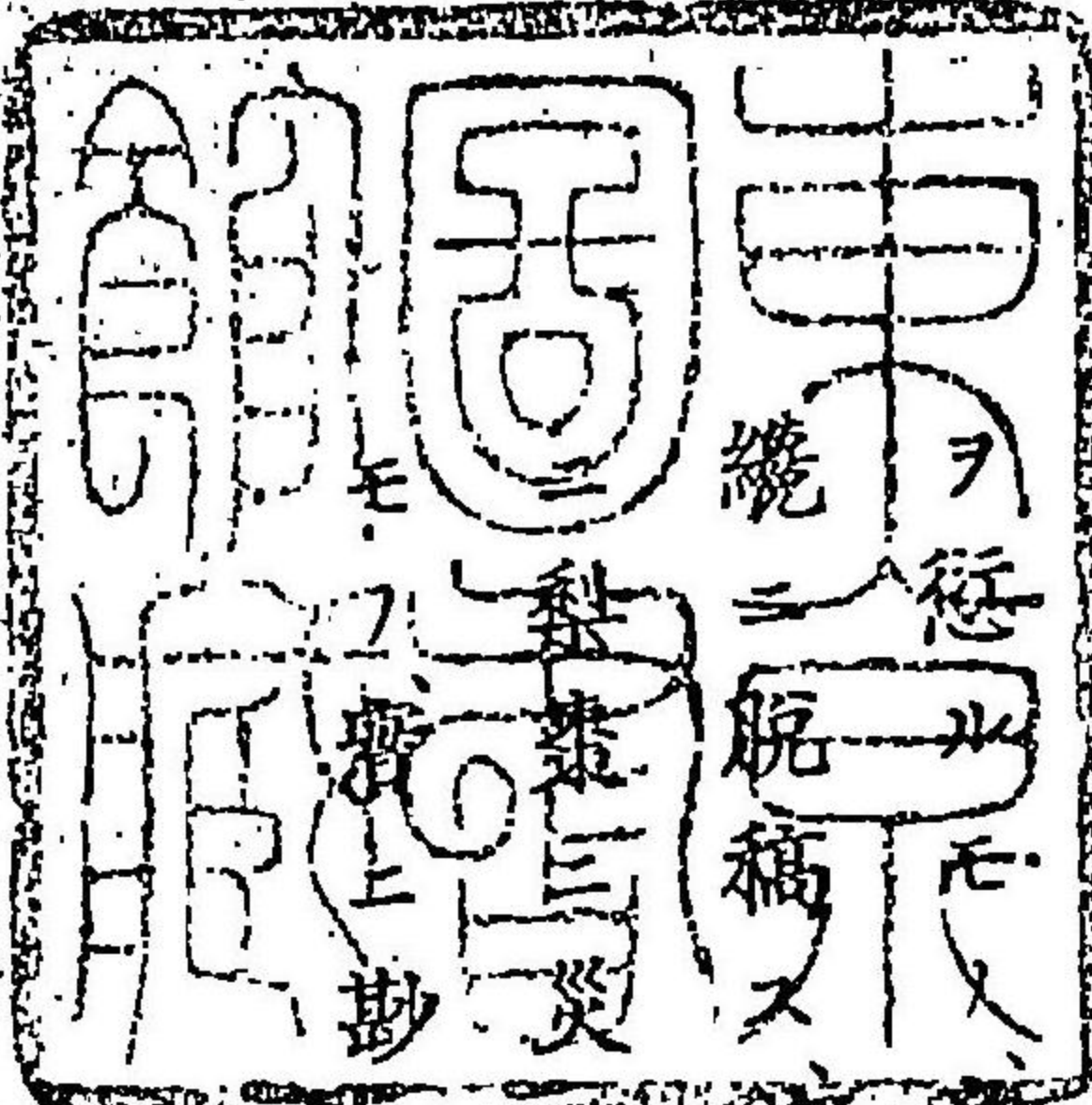
初學翻譯文範

第一集

東京 大森惟中 著

序例

一 翻譯ノ用ハ能ク原旨ヲ達スルニ在リ、故ニ字ヲ措キ辭ヲ屬スル務テ周密ニシテ其意ヲ誤ラザルヲ要ス、近來少年輩夙ニ洋學ニ從事スルヲ以テ、大抵我邦文字ノ學ヲ攻ムルニ違アラズ、是ヲ以テ翻譯スル所ノ文、多クハ支離體ヲ成サズ、或ハ晦澁ニシテ其旨ヲ明カニセズ、或ハ繁冗ニシテ其要ヲ辨セズ、其字義ニ弄璋伏臘ノミナラズ、概テ他人ノ校正ヲ須テ甚キハ則チ自ラ其陋ニ甘シ、教然トシテ覺ラズ、妄スルモノアリ、其謬ヲ今世ニ傳ヘ、笑ヲ後日ニ貽スカラズ、斯ノ如クニシテ止ラズンバ、我邦文字ノ學



漸ク將ニ埋滅セントス、余深ク此ニ感アリ、爲メニ一部ノ翻譯
文典ヲ著シ、以テ其弊ヲ極ハント欲ス、然レモ是レ頗ル大業ニ
シテ一朝ノ能ク爲ス所ニアラザルナリ、是ニ於テカニ三ノ學
友ト相謀リ、英佛獨三國ノ諸書ヲ搜リ、短簡ノ文ヲ抄出シテ之
ヲ翻譯シ、譯法ヲ講シ、字訓ヲ釋シ、文法ヲ論シ、題シテ翻譯文範
ト曰ヒ、毎月一二集ヲ印刷シ、以テ世ノ少年輩ガ翻譯ヲ肄ヒ、文
字ヲ識ルノ料ニ供セントス、然シテ數十集ヲ累ヌルニ至リ、更
ニ文例ヲ精選シ、以テ翻譯文典ヲ作ラントス、是レ此書ヲ編ス
ルノ大主意ナリ、

一是書原ト少年生徒ノ爲メニ作ル、固ヨリ大方ニ示スモノニア
ラズ、故ニ標題ノ上冠スルニ初學ノ字ヲ以テス、

一每集必ズ英佛獨ノ三文ヲ舉グ、或ハ記事或ハ論說或ハ雜話等、

各一二章ヲ拾ヒ、三文集ヲ逐テ送ニ其體ヲ交錯ス、例ヘバ第一

集ニ佛ノ記事獨ノ雜話英ノ論說ヲ載スレバ、次集ハ佛ノ雜話
獨ノ論說英ノ記事ヲ録スルカ如シ、

一原文ハ務メテ普通ノ文ヲ收メ、具專門ノ學科ニ係ルモノ、及ビ
法律規則ニ關スルモノハ、概シテ採ラズ、是レ專門ノ學ハ自ラ
専門ノ學語アリ、法律規則ハ自ラ法律規則ノ譯法アリテ、普通
ノ譯例ヲ以テ準トス可カラザルガ故ナリ、其原書ノ名ハ必ズ
每文ノ下ニ注記ス、

一原文每語ノ下ニ直譯ヲ附シ、且ツ數字ヲ配記シテ順逆廻續ス
可ラシム、其譯語ハ專ラ初學ノ慣用ニ依リ、必シモ字句ノ巧穩
ヲ求メズ、蓋シ初學ノ譯ヲ下スヤ、其自ラ造語スルモノハ論ナ
シ、其對譯辭書ニ据テ訓ヲ施スモ、擇フ所精ナラザレバ猶ホ未

其肯繁ニ中ル能ハズ、一語數訓アルガ若キハ、偶マ此ヲ取ラズ
 シテ彼ヲ取リ、却テ譯意ヲ誤ルコトアリ、又往々同訓異義ノ字ヲ
 辨ゼズシテ之ヲ錯用シ、或ハ我邦ノ語格文例ヲ識ラズシテ一
 種奇異ノ文ヲ成スモノアリ、此レ皆直譯ニ泥ミ之ヲ蠶化スル
 能ハザルニ根スルモノニシテ、真ニ翻譯ノ名ニ稱ヘリトセズ、
 翻譯ノ字義ハ彼ノ語ヲ變シテ翻然我文ト爲スヲ云フ、是ヲ以
 テ直譯ハ故ヲニ初學ノ沿襲スル所ヲ出シ、而シテ譯文ニ於テ
 之ヲ翻正シ、其譯意ノ適否ハ之ヲ譯法ニ辨シ、其訓義ノ異同ハ
 之ヲ字訓ニ示シ、其彼我語格ノ差別アルハ之ヲ文法ニ論セリ、
 讀者直譯ノ字面ヲ以テ必シモ原語ノ意ヲ盡セリトナスコト勿
 レ、

一譯文ハ雅文小説ノ二體ニ分チ、其雅文ハ片假名ヲ用ヒ、小説ハ

平假名ヲ用テ記ス、但シ別ニ和文ノ一體ヲ設ケント欲ス、然レ
 凡目下常用ノ文ニアラザルガ爲メニ、姑ク之ヲ他日ニ讓ル、
 一譯法ハ文ニ隨テ變化アリ、固ヨリ一文ヲ以テ之ヲ律ス可カラ
 ズ、是書原ト譯法ヲ講スルヲ主トス、故ニ譯文ハ譯法ノ爲メニ
 設クルモノニシテ、譯文ノ爲メニ譯法ヲ設クルモノニアラズ、
 若シ集中ノ原文ヲ譯スルハ、必ズ斯翻譯ヲ範トセヨト謂ハ、
 大ニ作者ノ意ニアラザルナリ、
 一字訓ハ專ラ漢字ノ用法ニ依テ訓釋ス、其和語ハ他日和文ノ一
 體ヲ設クルノ時ニ於テ載論ス可シ、

一文法ハ後年翻譯文典ヲ作ルノ稿トナルモノニシテ、特ニ今日
 ノ創案ニ係レリ、泰西文法ノ異ナル、此ヲ以テ我が文法ヲ論ス
 ルハ、數例ニ徴スルノ後ニアラザレバ、之ヲ確定スル能ハズ、故

6 5 4 3 1 2
TRAIT DE LA VIE DE CHARLES XII
 一條事 ノ 傳 ノ 查列斯 十二世

Un jour, le roi se promenant à cheval près de
 一日 王ガ 道邊ツ、アル時 ニテ 馬 近傍ニノ
 Leipsick, un paysan saxon vint se jeter à ses pieds
 レイプシク 一 田舎人ガ 撒遜ノ 來レリ 投シニニ 彼ノ 足
 pour lui demander justice d'un grenadier qui venait
 爲メニ 彼ニ 請フ 裁判ヲ ノ 一 隊卒 所ノ 夕リレ
 de lui enlever ce qui était destiné pour le dîner de sa
 彼ニ 奪ヒ モノヲ 所ノ 備ヘタリシ 爲メニ 晩饌ノ ノ 彼ノ
 famille. Le roi fit venir ce soldat: "Est-il vrai,
 家族 王ガ 來ラレメタ 此 兵卒ヲ アルカ 其ハ 實デ
 dit-il d'un visage sévère, que vous avez volé cet
 言フタ 彼ガ テーノ 顔 嚴ナル 一ノ 汝ガ 盜ンダ 此
 homme?—Sire, dit le soldat, je ne lui ai pas fait
 人ニ 君ヨ 言フタ 兵卒ガ 余ハ 彼ニ 爲サナシ
 tant de mal que Votre majesté en a fait à son maître:
 同ノ 惡サヲ ト 陛下ガ 其ニ 付爲シタニ 彼ノ 主
 vous lui avez ôté un royaume. et je n'ai pris à ce
 汝ハ 彼ニ 奪フタ 一 國ヲ 然ルニ 余ハ 取ラナシタニ 此
 manan qu'un dindon" Le roi donna dix ducats de
 賤人 ノ 外 一 七面鳥 王ガ 與ヘタ 十 デユカヲ カラ
 sa main au paysan, et pardonna au soldat en faveur
 彼ノ 手ニ 田舎人 而テ 免シタニ 兵卒 於テ 惠ニ
 de le hardiesse du bon mot, en lui disant: "Souviens
 ノ 大胆 ノ 趣 話 ツ、 彼ニ 言ヒ 記セヨ
 toi, mon ami, que si j'ai ôté un royaume au roi
 (ト) 我友ヨ 一ヲ 假令レ 余ハ 權ヲ 一 國ヲ 王
 Auguste, je n'en ai rien pris pour moi."
 ヲーギヌスト 余ハ ナン 其ニ 付ダ 何モ 取ラ 爲ニ 余ノ

(Histoire de Charles XII, par Voltaire.)

佛國ヴォルテール氏著查列斯十二世記抄

ニ 偶々一文ニ於テ例ヲ舉グルモ、更ニ數文ニ徴シテ考フル所
 アレバ、隨テ前例ヲ改メザルヲ得ズ、蓋シ改メテ然ル後ニ始メ
 テ精ナルモノトス、看者視テ口中ノ雌黃トナス、莫レ、
 一 集中論スル所邦文ト稱スルモノハ、西文ニ對スルノ語ニシテ、
 普通譯文ノ體ヲ云フ、皇國文即チ和文ノ謂ニアラザルナリ、其
 和文假名用法ノ若キハ、他日ニ於テ之ヲ辨セントス、
 一 每集ノ末漢文翻譯ヲ載セテ作例トナシ、且ツ諸家ノ評語ヲ錄
 シテ參觀ニ具フ、其原文ニハ直譯ヲ附セズ、又譯法等ヲ論セズ、
 讀者ノ自ラ照考スル所ニ任ス、但シ別ニ泰西ノ詩ヲ譯スルニ、
 漢土ノ詩及ビ我國歌ヲ以テセントス、然レモ是レ頗ル高等ノ
 學課ニ屬スルヲ以テ、亦後日ノ採纂ヲ俟ツ、

查列斯十二世ノ行事

瑞典王查列斯十二世嘗テ黎布斯克府外ニ逍遙ス、チヤールス一村民馬前ニ跪キ請フテ曰ク、吾カ家適々晩饌ニ具フル所ノモノアリ、一兵卒ニ奪ヒ去ラル、故ニ来リ訴フト、王卒ヲ召シテ之ヲ詰ル、辭色頗ル厲シ、卒對ヘテ曰ク、吾陛下ノ惡ヲ作スガ若クナラズ、陛下ハ彼レガ主ノ國土ヲ奪ヘリ、我カ取ル所ハ民家一隻ノ火鷄ニ過ギザルノミト、王乃チ親シク村民二十チニカ貸ヲ與ヘテ償トナシ、卒ノ直言ヲ嘉シテ之ヲ赦シ、且ツ語ゲテ曰ク、卿朕カ言ヲ記セヨ、朕與古斯多王ノ國ヲ奪フモ、敢テ自ラ取テ私セザルナリ、

〔譯法〕

瑞典王原文ハ史傳ノ一節ヲ舉ルガ故ニ單ニ王ト稱スレモ今此記事ヲ以テ一文ヲ作スガ故ニ一ノ字ヲ補ヒ其

人ヲ詳嘗テアルトキハ義ニテ一日ト同シ但シ上文ヲ承ケテニス先ツ一文ノ主ヲ示スヲ馬前ニ跪キ彼ノ足ニ云々ト譯シテハ以テ首メニ王名ヲ掲グ馬前ニ跪キ文ヲナサズ又馬ニテ逍遙スト譯スルモ拙シ故ニ上ニハ馬ノ字ヲ省キ此ニ馬具フル所前ニトシ其馬行ナルヲ示ス是レ譯法ノ活用ナリ具フル所原文ニハ唯物ト稱シ下文卒ノ語中ニ其七面鳥ナ之ヲ詰ル此一ヲ示ス是レ作者文法ノ妙ナリ譯文亦之ニ依ル之ヲ詰ル此中卒ノ對辭ト王ノ後語トヲ主トス故ニ原文王カ卒ニ實ヲ訊フノ語ハ一ノ一ノ四字ヲ以テ略シ下ノ二語ニカヲ生ゼシム是レ譯法ノ取捨ニシテ即チ詳略ノ文法ナリ若シ之ヲ正譯スレバ卒ヲ召シ訊フテ曰ク汝實ニ盜ヲ此人ニ爲ス乎トスベシ陛下ハ尊者ニ對スル詞ニアラズ故ニ陛下ト譯スハ一隻ノ火鷄凡ソ西文ハ物ノ數ヲ記スル數字ノミヲ以テス我邦ハ物ニ隨テ其稱アリ鳥ニ隻ト云ヒ獸ニ匹ト云フガ如シ文ニ應シテ取捨スヘシ本文或ハ民家乃チソコテノ義ナリ原文ニハ之一火鷄ニ作ルモ妨ナシ乃チソコテノ義ナリ原文ニハ此字ナカ

ルベカ 償トナシ 原文「與ヘタ」ハ與ヘテ償トナス意ナリ故ニ此
ラズ 償トナシヲ補フテ其義ヲ詳ニス或ハ直ニ「十チユカラ
償フ」ト譯ス 直言ヲ嘉シ 原語「趣諾」ハ善ク推諉ノ説ヲナスヲ云
ルモ可ナリ 直言ヲ嘉シ 然レモ大膽ニシテ忌諱ヲ憚ラス故
ニ此ニハ直言ト譯ス又原文「惠ニ於テ」ハ王ヨリ 與古斯多凡ソ
兵卒ニ惠ムノ意ナレバ即チ嘉スト同義ナリ 與古斯多凡ソ
ヲ以テ原語ヲ記スル「a e i o u」ノ母音ニハ「ア イ ウ エ オ」ノ
五音ヲ當ツベシ「エ」ト「ア」ハ「ウ エ ヲ」ノ音ニシテ母音ニアラズ
故ニ「ウ」ノ綴字ニ於テ敢テ自ラ云々 原文「何ニモ取ラシ」ヲ正譯
テ用フルモノトス 敢テ自ラ云々 然レモ一ムモ敢テ自ラ取
ラザルナリトスルモ可ナリ然レモ
本文ヲ王者ノ語氣ヲ得タリトス

〔字訓〕

具フ 具ハ「其用ニムケ具フル意ニテ供具也ト註ス備ハ「備ヘ奪
テ用ヲ待ツ」意ニテ備荒備兵等ニ用フ義自ラ異ナリ 奪
フ 奪ハ「奪ヒトリテ我がモノトスル」ナリ褌衣褌官等ノ如シ奪ト同シ
ハ「人ノ身ニ就テハギトル」ナリ褌衣褌官等ノ如シ奪ト同シ

カラ 厲シ 厲ハ「ハゲシキ」嚴ハ「オゴソカ」 赦ス 赦ハ「罪ヲ赦免スル」
ズ 厲シ ナリ此ニハ厲ヲ適當トス 赦ス 宥ハ「宥免シテ輕ク
スル」免ハ「ノガレサスル」釋ハ「トキ」 且ツ 「ツ」ノ「ツ」ハ「ナリ即卿」
ユルス「意ナリ互ニ其義ヲ異ニス 且ツ 「ツ」ノ「ツ」ハ「ナリ即卿」
ノ義相親ムノ詞ナリ 原文「我友ノ意ト稱フ」

〔文法〕

〔實名詞〕王ガ 卒ガ 「ガ」ノ字ヲ用ヒズ「王嘗テ」卒對ヘテ「ノ」如シ君

ヨ、我友ヨ 西文ハ言語中相對スル人ヲ指呼ス譯文ハ數贊
ヲ其句首ニアルモノハ適々指呼ノ義トナル
「ア」リ即チ「卿」ヨ朕ガ言ヲ記セヨ「等」是ナリ

〔代名詞〕彼ニ 西文ハ記者自ラ第一人稱ニ居リ二人ヲ記スル
ニ其一人ヲ彼トス譯文ハ多ク之ヲ省ク「彼」ニ請

フ「等」上句ノ人ニ請フ「明」カナレバ後「タ」彼ノ字ヲ用ヒズ或
ハ「之」ノ字ニ換フル「ア」リ「之」ニ請フ「如シ」彼ニ奪フタリシ彼

ニ言ヒツ、等皆所ノ關係代名詞ハ通例其ハ一スル所ト讀
 代名詞ヲ用ヒズ所ノメ凡其ハ略シ所ト讀テ通ズ且ツ譯
 文ハ務テ之ヲ少クスルヲ可トス原文兵卒ト奪ハレシ物ト
 關係代名詞相複ルガ如キハ必ズ其一ヲ省テ文格ヲ變シ其
 長句ニシテ文意相錯ルキハ折テ兩句トナスヲ要ソレハ西
 ス本文晚候ノ句ト一兵卒ノ句ト相分ツカ如シハ西
 ニハ下ノ事ヲ述ベガル前ニ先ツソレハ「非人代名詞ヲ用
 フル」我邦ノ俗言ニハ往々其例アリ然レハ譯文ハ其事ヲ
 記スル後ニアラザレ其ニ付西文ハ上文ノ詞ヲ指ス爲ニ其
 バ其代名詞ヲ用ヒズ亦譯文ニハ大抵余ハ汝ハ譯文一句ノ首ニアルハ時ニ隨
 省クヲ例トス余ハ汝ハ譯文一句ノ首ニアルハ時ニ隨
 「陛下ハ國ヲ奪ヘリ」如シ但シ「ハ」ノ字ヲ用ルハ提舉シテ云
 フ意アリ本文ハ陛下ハ云々我ハ云々ト比較スル語氣ナリ
 (形容詞) 彼ノ「彼」ノ字ニ換フル「ア」リ「其」馬前ニ跪キ
 ノ如シ然レハ此ニハ「其」ノ字ナキモ王ノ馬前ナル「明」ケシ
 又「彼」ノ主ノ「彼」ハ卒ノ王ニ對シテ村民ヲ指ス詞ニシテ譯文

亦彼ノ字ヲ用フ但シ「ノ」ノ字ノ重複ヲ避クルガ爲ニ嚴ナル
 「彼」ガ主ノ國土トスレハ其義ハ「彼」ト云フニ同シ

「嚴ナル顔」ハ厲色ト譯シテ可ナリ然レハ譯文ハ辭
 ト色トヲ併セテ形容スル故ニ辭色頗ル厲シトス

(動詞) 投ジニ来レリ 凡ソ主ノ動詞相層ルキ西文ハ上ノ字「来」
 ヲ主トス即チ「来」リ跪クト譯スルガ如シ且ツ凡ソ西文ノ過
 去未來現在ノ時ヲ分テル詞ハ譯文ニ在テ必シモ之ヲ區別
 スル能ハズ是レ文法ノ原ト同シカラザルニ因レリ故ニ
 来ル来リタリ来レリ等其文勢ニ從テ斟酌スルヲ要ス

(分詞) 逍遙シツ、アル時 西文「シツ、アル時」等時ヲ示スノ詞
 ヒ「ト」ス「ト」シ又ハ「ト」シタリ「ト」
 セリ「ト」スル等宜ヲ擇テ填用スベシ

(前置詞) 爲ニ、於テ 西文「爲ニ、於テ」等ノ前詞ヲ用フルモノ
 ルモノ多シ原文「彼」ニ請フ爲ニ来タ「ハ」其来ルノ因由ヲ說ク
 譯文ハ直ニ来後ノ所爲トナス故ニ「爲」ノ字ヲ用ヒズ「晚候」ノ

十三

Der Grosse Liebhaber Von Krebsen.
 大ナル 好者 ノ 海老

Ein preussischer und ein österreichischer Officier
 或ル 普魯士ノ 及ビ 或ル 奥地利ノ 軍官ガ
 wollten zusammen in einem Gasthause Krebse speisen.
 欲セシ 共ニ 於テ 或ル 客店ニ 海老ヲ 食セント
 als die Schüssel aufgetragen wurde, kann sie zufällig
 キ 其ノ 皿ガ 供セ ラレシ 來リシ 其ハ 偶然
 so zu stehen, dass der Oesterreicher gerade die grös-
 左様ニ ベク 立ツ 一ホド 奥國人ガ 丁度 最大
 sten Krebse vor sich hatte. Der Preusse, ein grösser
 ナル 海老ヲ 前ニ 已ノ 有セシ 普國人ガ ナル 大
 Liebhaber von Krebsen, ärgerte sich im Stillen darüber
 好者 ノ 海老 怒リシ 窮ニ ソレニ付
 und lenkte das Gespräch auf die Verbesserungen, die
 而テ 及ボセシ ニ 談話 上ノ 改革 所ノ
 jetzt in Preussen, besonders beim Militair und in der
 目下 於テ 普國ニ 就中 二付 軍事 及ビ 於テニ
 Justiz-Verwaltung, gemacht würden. Dabei drehte
 司 法 施サル ベキ 此際 廻ハ
 er jedoch, als ob es in Eifer des Gespräches ge-
 彼ガ 然シ 如ク 乎ノ 其ハ 於テ 勢ニ ノ 談話 出
 schähe, die Schüssel herum, indem er schliesslich
 來シ ヲ 皿 セレ ツ、 彼ガ 怒ニ
 sagte: "Ich versichere Ihnen, Herr Kamerad, bei
 十五 話シ 予ハ 保ス 貴下ニ 君ヨ 同僚 在テハ
 uns wird jetzt Alles umgedreht!" Der Oesterrei-
 我々ニ サルハ(ト) 目下 萬事ガ 回轉 ハ 奥國
 cher, die Absicht des Preussen gewahr werdend, erwi-
 人 ヲ 目途 ノ 普人國 悟リツ、 答ヘ

他字ハ當ラズテ之ヲ字訓ニ辨ズベシハ
 相下スルノ嫌アリ客假令トモレモセヨノ意ナリ故ニ而シテハ
 ハ文ノ客ニシテテ兵卒ヲ宥スハ文ノ意ニ同シ蓋シ村民ニ償フ
 以テ後タ接續詞ヲ用ヒズ其意ハ原文ト同シ下文ニシテ免
 ハ「陛下」ト「余」ガ奪フ所ハ「ト」ニ句緊對シテ語勢ヲ急ニスルヲ
 ニ用フル反語ニシテ通常而シテ「ト」譯スルノ意ヲ強クナリ譯文
 爲ニ「及」ビ「余」ノ爲ニ「ハ」晚饌ニ具フ敢テ自ラ取テ「ト」譯シ「爲」ノ
 字ヲ省ケリ又「彼」ノ主ニ「王」ニ「ハ」彼ガ主ノ「王」ノ「ト」譯シ「兵卒」ニ
 ハ「卒」ヲ「ト」譯セリ又「惠」ニ於テ「ハ」嘉スト譯スルヲ類推シテ以テ「於」ノ字
 ヲ用ヒザル等枚舉ニ違アラス讀者宜ク類推シテ以テ「於」ノ字
 (接續詞)然ニ而テ凡ソ接續詞ヲ譯スルハ原文然ルニ「ハ」上ニ從
 テ取捨スルヲ要ス原文然ルニ「ハ」上ニ從

derte lächelnd: " Schauen's Herr Kamerad, bei uns
 8 12 11 10 14 13
 18 15 16 17 19 24 23
 ist alles ganz anders, der Kaiser laesst halt Alles
 アル萬事が全ク異リテハ皇帝ル(ト)守萬事ヲ
 beim Alten," und mit einem Ruck drehte er die
 22 21 20 28 32 17 30
 依テ舊ニ而テ迅速ニ廻ハ彼ガヲ
 Schuessel wieder herum.
 31 33
 復タセシ

(Eine Million Dummheiten.)
 Verein der alten und jungen Esel.
 獨國老弱驢馬會社刊行 百萬滑稽

普魯士の一軍官と奥地利の一軍
 官と、俱に其の客館にて對食し、
 蝦と喫せんと欲しけるに、其皿を
 供出し、とき偶然奥人の前にハ
 最も大なる蝦を居えたりけり、普
 人の甚だ蝦を嗜みければ、心中陰
 に愠り、やがて談話して現今普國
 に於る改革の事に及ぼし、就中軍
 務ハ爾々施さるゝからん、司法
 ハ云々行はるゝならんなど、説
 き出したる其末、僚友の君よ、余

ハ貴下に證し申さん、我普國にてハ百級の事目下更變せらるゝ、
 なりと、言ひあがら、話の手勢に假託去つゝ、蝦の皿を轉換へた
 り、奥人の端々も普人の意を覺り、かば、莞爾として微笑あがら
 答ふるや、甚麼に僚友の貴下能く見給へ、我奥國にてハ百級の
 事全く貴國と相反し、我皇帝ハ底事も舊に依りて守り給へりと、
 言つゝ、捷速く蝦の皿を再び故に復しけり、

〔譯法〕

一軍官 原文「或ル軍官」ノ意ナリ「或ハ」アルヒト「ニテ或人ト云フ
 詞ハアレヒ或軍官トハ云ハズ故ニ假名文ニある軍官
 トスルハ可ナレヒ 其の「ナニガシ」ノ義ニテ原語「或ル」ノ對食
 或ノ字ハ當ラズ 義ナリ或ノ字ノ辨ハ上ニ見ユ
 此譯ハ小説體ナルヲ以テ原文ニ無キ字ヲ足シ句調ヲ補ヒ
 テ讀ミ易カラシムルモ多シト一及ビ下文「心中愠リ端々
 モ覺リ微笑ナリ行を、原語「施サルベキ」ノ字ヲ兩句ニ分チ
 等皆此例アリ行を、用フルガ故ニ一句ハ其字ヲ換へタ

ルナリ其義ハ施スト云フ目下ニ原文ハ上ノ「現今」ト同字ナリ此ニ同シ是レ互文ノ法ナリ
ヲ避クルナリ下ノ萬事ヲ復しとる原文ハ上ノ「轉換」ト同字ナシテ較々文勢ヲ強メタルナリ

〔字訓〕

俱ハツレダチテトモニナリ不俱戴天ノ俱ノ如シ共ハ同
ノ物ヲ「モヤヒテ陰」ハ「ソノ身ヒツカニ」ナリ義較々異ナリ
食フ「一ニナルベシ陰」ハ「ソノ身ヒツカニ」ナリ義較々異ナリ
「ハ心ニ不平ト思ヒイキドホル」意ニシテ怒ハ汎ク「イカリ」
「ハラタツ」ヲ言フ詞ナリ此ニハ「ハ」字ヲ用ヒテ是ナルニ似
タ覺覺ハ「コ」ロツク「意」ニテ他ノ事ヲサトルニ用フ悟ハ「發
明スル」意ニテ已レノ心ニサトルニ用フ迷ノ反對ナリ

〔文法〕

〔實名詞〕

彼ガ「西文ハ毎句名詞ヲ主格トシテ文ヲ成スヲ以テ直ニ「血」ヲ供ストスルナリ普國人ガ容語ヲ加ヘタルモノ
譯文ニテ之ヲ直寫スルハ先ツ形容語ヨリ記シ名詞ハ却
テ數語ノ下ニアルヲ以テ適々其主格ヲ認メ易カラザル
アリ故ニ此類ハ譯文ノ格ヲ變シ首トシテ其主格ヲ示スベ
シ即チ原文「海老ノ大好者ナル普人ガ」ヲ「普人ハ甚々蝦ヲ嗜
ミケレバ」ト
スルガ如シ

〔代名詞〕

彼ガ「佛文」彼ニ彼「ノ」例ニ同シ支那ノ小説ニ「前
字ヲ用フルモノ偶々此ニ類其ハ原文ハ「血」ヲ指ス譯文ハ人
スレト通例ノ文ニアラズ
血ノ代名詞予ハ原文「予」ハ保ス等言語ノ首ニ先ツ「予」ハ「字
ヲ用ヒズ」
會話ノ法ナリ譯文ハ先ツ保スル所ノ事ヲ記シ了リテ予ノ
保スル所ナリトスルモノ多シ其述ル所ノ事ヲ事長クシテ數句

ニ涉ルモノ、如キハ殊ニ然ルニ似タリ然レモ此ニハ更變セラル、ナリノ語下ノ四ヲ轉換スル事ニ密接セシムルヲ可トスルガ故ニ原文ノ次叙ニ從ヘリ

(形容詞)最大ナルノ面文ノ形容字ニハ固ヨリ一定ノ階級アレモ譯文

必ズ副詞ヲ添ヘテ其階級ヲ示スベシ但副詞ニ用フル字面ニ自ラ輕重アリ最特ニ殊ニ絶々太々甚々頗ル少シク稍ヤ較ヤ等宜ニ隨テ撰用スベシ

(冠詞)或ル原文ハ普魯士ノ及ビ埃地利ノ一名詞軍官ヲ并用

スレモ譯文ハ冠詞及ビ單複ノ設ナシ故ニ普魯一軍官ト埃一軍官トスルカ或ハ約シテ普埃ノ二軍官トスルナリ

(動詞)来リシズ原文ハ四ガ来リシ等ノ詞譯文ニハ常ニ其例ヲ見

等ニ用フルヲ希レナルニ因テナリ

(前置詞)於テ譯文ニ之ヲ約スレバ食蝦於割烹店ハニトナリ於

割烹店食蝦ハ於テ又ニテトナル然レモ其義ハ一ナリ又

普ニ於テハ普ニ於テノノ意ナリ但シ動詞ニテ下ヲ承ルハ於テ改革

トスルガ語路好シ又司法ニ於テハ上ノ軍事ニ付ト相對

シテ譯スルガ故ニ略シニ付原文ハ軍事ニ付及ビ司法ニ於テ軍務ハ司法トス

(接續詞)及ビ原文首句ノ及ビハト譯シテ可ナリ即チ普ノルベキノ一動詞ヲ以テ之ヲ承クレモ譯文ハ二ノ名詞ニハ

前詞ヲ用ヒ軍務ト司法トニ於テ施サルトスルカ又ハ本文ノ如ク二句ニ分

テ各動詞ヲ用ルナリ

was in all Probability a rude dramatized picture
 of the miracles and martyrdom of that saint. These
 performances were an expedient employed by the clergy
 for giving religious instruction to the people, and for
 extending and strengthening the influence of the
 church by gratifying the curiosity of rude hearers.

(To be continued.)

(Shaw's new history of English and American literature.)

英國ノヨ一氏英米史學新史

今世開明ノ諸國中演劇ノ文
 學ヲ傳有スルハ、獨リ西班牙
 ト英吉利ノ二國ニ在リ、其原
 由特創ニ係リ、其式様固有ニ
 出テ、而シテ演劇ノ因テ起リ
 シ所ノ人民ノ德行交誼及ビ
 才智ノ狀ヲ著實ニ寫出セリ、
 遡リテ英國戯曲ノ學ノ起始
 ヲ考フルニ、諾曼ノ侵奪ヲ距
 ル速カラザル時ニアリトス、
 蓋シ第十二世紀ニ在テハ、戯

The Dawn of the Drama.

起端 / 淨瑠璃

Spain and England alone, among all the modern
 civilized nations, possess a theatrical literature indepen-
 dent in its origin, characteristic in its form, and reflec-
 ting faithfully the moral, social and intellectual features
 of the people among whom it arose. The dawning
 of the English dramatic literature can be traced to a
 period not far removed from the Norman Conquest;
 for the custom of representing, in a rude dramatic
 form, legends of the lives of the saints and striking
 episodes of Bible history, existed as early as the
 twelfth century. To these the name of mysteries or
 miracle—plays was given. The earliest on record is
 the PLAY OF ST. CATHERINE, which was represented
 at Dunstable in 1119. written in French, and
 at Dunstable in 1119. written in French, and

原文ニ語ノ義ヲ無ルモノハ固ヨリ一熟字ヲ下シテ足レリ初
 學往々原文ニ拘泥シテ強テ二語ニ填譯シ擴張シ且ツ強盛ニ
 スル等ノ文ヲ作ス蒙昧原文ハ上ノ粗率ノ字ト同シ但シ戲曲
 窃ニ取ザル所ナリ蒙昧ニハ粗率ト云フベケレト粗率ノ聽衆
 ト譯スレバ「ガサツノ人」トナリ大ニ其意ヲ誤ルベシ故ニ轉
 シテ蒙昧即チ「愚人」ノ義トナスナリ是ヲ同語異譯ノ例トス

〔字訓〕

中ニ 中ハ多キモノ又ハ廣キモノ、ナカト云フ意ニ用フ衆中
 園中等ノ如シ内ハ外ノ反對ニシテ「イレモノ、ウチ」ト云
 フ意ニ用フ宇内當時「ソノトキ」ノ義ニテ往時ヲ云フ俗距ルハ
 邦内等ノ如シ「語今時ヲ指スニ用フルハ誤レリ距ルハ
 「間ノヘタ、リタル」意離ハ「中ノハナレタル」義ニ、
 用フ時日地位等ヲ去ルハ距ノ字ヲ用フベシ

〔文法〕

〔實名詞〕各國レバ之ヲ別ツ能ハズ國ヲ諸國トシ人ヲ衆人ト

スルカ如シ然レモ國及ビ人等汎用ノ字ハ之ヲ單用スル
 モ文勢ニ因テ複數タル明シ譯者必シモ原語ニ拘ル莫レ

〔代名詞〕其ノ所ノ其ガ原文其ノ内ニ其カ等代名詞ノ相複ル

其指ス所ノ名詞ヲ用フベシ本
 文「其ガ」ヲ「演劇」トスル類ナリ

〔形容詞〕當時ノ形容詞「ノ」ノ字アル詞ヲ譯スルハ下文ノ語
 路ニ從テ「ノ」字ヲ取捨シ其重複ヲ避クベシ「近

世ノ開明諸國」近世開明ノ諸國「開化シタル、才智ノ、未熟
 近世開明諸國」中等ノ如シ

ナル通常形容詞ヲ譯スルニ動詞ヨリ變ズル者ハ「」シタ
 「」名詞ヨリ變ズルハ「」シタル其全ク形容ニ屬スル

モノハ「」ナルトスルカ如シ然レモ「シタルナル」ハ並
 ニ「」ニ換フルヲ得開明ノ國粗率ノ戯曲ノ例ノ如シ

〔動詞〕始リシ「演スル」分詞「」ハ熟語トシテ
 「」得ザルハ「」ノ字ヲ省

テ譯スベシ本文「始リシ」ハ起始ト譯スレモ「演スル」ヲ「演
 スル」トシ「弘ムル」強クスル「」ヲ擴張スルトナスカ如シ

Le siège de Colchester.

L'Angleterre, sous le roi Charles Ier, fut désolée par des troubles affreux. Le roi et le parlement se faisaient la guerre; les armées du parlement et les armées royales ne cessaient de se livrer des combats, après lesquels les vainqueurs traitaient sans pitié les vaincus.

Les troupes royales ayant eu le dessous, plusieurs officiers, fidèles à leur infortune monarque, se jetèrent dans la ville de Colchester, sous le commandement de lord Capel: l'armée du parlement commandée par lord Fairfax, vint mettre le siège devant cette place.

Le siège de Colchester est un des événements les plus mémorables de ces temps malheureux par l'opiniâtre résistance de ses défenseurs. Malgré les rudes assauts qu'ils eurent à souffrir, malgré la disette affreuse à laquelle ils furent bientôt réduits, ils faisaient sans cesse de brusques sorties, et bravaient toutes les forces des assiégeants.

Fairfax, brulant de se rendre maître de la ville et encore plus d'attirer dans le parti du parlement lord Capel, un des hommes les plus vertueux et les plus illustres de cette époque, et voyant que Capel était déterminé à périr, plutôt que de violer la fidélité qu'il devait à son roi, imagina, pour vaincre sa résistance, un moyen affreux.

Le fils unique de lord Capel, âgé de seize ans étudiait alors dans un collège aux environs de Londres. Fairfax le fit saisir secrètement et le fit amener dans son camp. Puis il invita à une entrevue lord Capel, qui ne se doutait point de cet enlèvement. Une trêve d'un jour fut signée; et les deux généraux se réunirent pour conférer, sous une tente, dans un lieu également éloigné du camp et de la place.

Capel ne pouvait pas se douter des motifs pour lesquels il avait été appelé à cette entrevue. Fairfax

(副詞) 總テ 原文「總テ」ハ開化シタル總テノ各國ヲ云フナリ
 文ハ諸國中獨リ云々トスルヲ以テ總テノ語ヲ要セ

ズシテ其意 正實ニ 從テ直ノ後ニ副詞アルモハ副詞ハ首ニアリテ
 明カナリ 動詞ハ句尾ニアルヲ常トス然レモ偶々長句ニシテ一
 首尾甚ダ相離ルハキハ一讀シテ副詞ノ屬スル所ヲ知ル能

ハズ此ノ如キハ副詞ヲ句尾ニ移シテ動詞ノ前ニ
 アラシムベシ本文「……」ヲ著實ニ寫出スル是ナリ

(前置詞) マデ 西文「マデ」ノ詞ハ譯文多ク之ヲ用ヒズ原文「時
 ニ」マデ「ハ」時ニ「人」譯文「マデ」ハ「人」ニトナルナリ

カラ From「ヨリ」ト譯スルモノアレ原「距離」トナルカ
 ヲ離レ「如キハ直ニ」諾曼ノ侵奪ヲ距ルトナル

(接續詞) 及ゼ 英「and」佛「et」獨「und」ヲ用フル概シテ「及
 テ」ト譯スレバ繁複厭フベシ故ニ文ニ從テ「而」

然テ且又並ニ與等ノ字ヲ撰用ス可シ但本句讀ノ次ニ在
 ルハ適々「而」テ然テ且「ト」ナリ二語ノ間ニ在ルハ「及」トナ

リタ故ニ 其故ヲ說ク詞ナルヲ以テ「蓋シ」ト譯シテ通ケステ

entre les mains de cet homme ; tu ne seras pas à plaindre si, dans un âge si tendre, tu as l'honneur de mourir pour ton roi. Adieu." Et il se retira, après avoir échangé avec son fils un douloureux et dernier regard.

Tous ceux qui assistaient à cette scène avaient les larmes aux yeux. "Non, s'écria un des officiers de Fairfax, non, general, vous ne commettrez pas une action aussi cruelle : toute l'Angleterre vous maudirait."

Fairfax, qui avait été sur le point de donner aux soldats l'ordre de tuer l'enfant, revint à des sentiments plus dignes d'un homme et d'un chrétien : il craignit l'exécration de la postérité ; il craignit sa propre conscience ; il se contenta de relenir l'enfant prisonnier, et, plus tard, il le rendit à sa mère.

英王查列斯一世時，王家與巴力門有
 隙，出兵相戰，互有勝敗。既而王軍不利，
 退入葛城，敵攻圍益急。城兵力拒糧食，
 盡。猶時出斫營，敵將裴兒花谷計欲取
 其城，謂莫若降。城將加百耳乃遣使城
 中，約休戰一日，請加氏面議。幕於兩軍
 間，二將相見，裴氏說曰：子降附納城，待
 以高爵。加氏大怒曰：忠臣至死不變節，
 拂袂起，裴氏急呼曰：且坐，吾不能服汝，
 猶有一人能服汝者。言未畢，衆擁一少
 年出，刃擬其胸。加氏視之，則其兒也。蓋

葛城之役

藤井善言

les lui expliqua : il lui offrit, au nom du parlement, les plus hautes dignités et les plus brillantes récompenses, s'il voulait abandonner la cause du roi et livrer Colchester.

Ces propositions firent frémir d'indignation cet homme plein d'honneur et de loyauté ; il témoigna à Fairfax sa ferme résolution de rester fidèle jusqu'au dernier soupir à son roi et à son serment, et, se levant de son siège, il allait rompre brusquement l'entretien et retourner dans la ville, lorsque Fairfax lui dit avec un mouvement de colère :

"Arrêtez, vous n'avez pas tout entendu ; et puisque je n'ai pu vous persuader, je vais faire parler quelqu'un qui aura sur vous plus de pouvoir que moi. Voyez cet enfant ; votre réponse décidera de sa vie."

En ce moment, le fils de lord Capel entra dans la tente ; il était tenu par des soldats ; et l'un d'eux appuyait sur la poitrine nue du jeune homme, la pointe d'un poignard.

"Parlez à votre père, lui dit Fairfax, en lui lançant un regard farouche ; dites-lui qu'il me rende sur-le-champ cette ville ; car, s'il ne me la rend pas, je le jure, vous allez périr sous ses yeux."

Le père et le fils qui ne s'étaient pas vus depuis deux ans, se regardaient avec tendresse et avec douleur, et brûlaient de voler dans les bras l'un de l'autre ; mais les soldats de Fairfax les en empêchaient. "Barbare ! s'écria Capel, que vous a fait cet enfant ? De quel droit menacez-vous sa vie ?—O mon père ! s'écria l'enfant, cet homme ne m'arrachera pas une parole contraire aux sentiments que vous m'avez inspirés. Qu'il me tue, s'il le veut, je mourrai digne de mon père."

Fairfax frémissait de fureur. "O mon fils ! s'écria Capel, tu sais combien je t'aime ; mais je me deshonorerais et je te deshonorerais toi-même, si pour toi je trahissais Dieu, mon roi et mon serment. Ta vie est

在龍動留學，裴氏遣人誘執之也。裴氏目兒曰：汝使而父速納城，不則死矣。加氏與兒不相見，幾二歲，悲哀不自禁，欲急持之，眾遮止之。加氏罵曰：咄，墮賊無狀，吾兒何罪？兒呼曰：爺勿憂，此輩決不能使兒為不義語也。兒亦不惜生，以玷爺節。加氏喜曰：汝定知吾愛汝之深也。然吾以汝故背義，耻莫大焉。汝幼弱殉難，死有餘榮，吾何憾？汝辭訣而去，一坐莫不悲泣。裴氏將殺之，部下士諫曰：不宜為此殘虐，為天下所指彈。裴氏乃止。事定後，送致之其母。

大森解谷評 裴氏誘兒事，叙於加氏視之之下，倒寫原文，極有結構。文亦悲壯逼人。

依田學海評 有一人能服汝者，及不能使兒為不義語等語氣，自是西人，不是漢人言語。如此模寫，乃能得西史格法。

明治十五年九月廿一日出版御届同月發兌
同 十六年三月十二日訂正再版御届

定價金拾貳錢

著者無
出版人

大森 惟中
東京小石川區竹早町七番地

發 賣 書 肆

芝區神明前	山中市兵衛
東 日本橋區通三丁目	丸屋善七
同 區本町三丁目	瑞穗屋卯三郎
同 區兩國吉川町	島屋一分
京 京橋區南傳馬町二丁目	穴山篤太郎
小石川區大門町	青山清吉

772
6
580

初学

翻譯文範

第一集

- ◎ 序例
- ◎ 佛文 葛城之役漢語
- ◎ 英文 戲曲ノ起原
- ◎ 葡文 二軍官蝦ノ事ノ話
- ◎ 佛文 查列所ノ行事

行所店支一第社發編刊川竹橋新東京

076626-000-4

特67-772

初学翻译文範 第1集

大森 惟中 / 著

M16.3

DAA-0036

